

第1 事業計画

1 個別事業計画一覧表(1)

令和 年 月 日 現在

目標	事業種目 (メニュー)	実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考	
林業・木材産業 の生産基盤強化	間伐材生産	間伐材生産					円/ha m <sup>3</sup>	
		関連条件整備活動						
		うち森林作業道整備						
		合計						
	路網整備・ 機能強化	林業専用道(規格相当)の整備						
		A区分						
		B区分						
		C区分						
		補強						
		点検診断						
		森林作業道の整備						
		林道等の機能強化						
		機能強化(単独型)						
		機能強化(一体型)						
		森林作業道の機能強化						
林業専用道(規格相当)の復旧								
合計								
附帯事務費								
総計								
森林整備の地域 活動推進	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林経営計画作成促進	福井市	福井森林組合ほか	155.00ha	5,130	2,565	令和6年度交付金	
		越前市	越前福井森林組合	5.00ha	190	95	令和6年度交付金	
		池田町	越前福井森林組合	40.00ha	1,520	760	令和6年度交付金	
		交付金合計			200.00ha	6,840	3,420	
	基金合計							
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林境界の明確化	福井市	福井森林組合ほか	70.00ha	3,150	1,575	令和6年度交付金	
		永平寺町	福井森林組合	5.00ha	225	112	令和6年度交付金	
		大野市	九頭竜森林組合	76.00ha	3,420	1,710	令和6年度交付金	
		勝山市	九頭竜森林組合	55.00ha	2,475	1,238	令和6年度交付金	
		越前市	越前福井森林組合	55.00ha	2,475	1,238	令和6年度交付金	
		南越前町	南条郡森林組合	170.00ha	7,650	3,825	令和6年度交付金	
		敦賀市	れいなん森林組合	20.00ha	900	450	令和6年度交付金	
		美浜町	れいなん森林組合	40.00ha	1,800	900	令和6年度交付金	
		若狭町	れいなん森林組合	150.00ha	6,750	3,375	令和6年度交付金	
		小浜市	れいなん森林組合	90.00ha	4,050	2,025	令和6年度交付金	
		おおい町	れいなん森林組合	200.00ha	9,000	4,500	令和6年度交付金	
		高浜町	れいなん森林組合	40.00ha	1,800	900	令和6年度交付金	
		交付金合計			971.00ha	43,695	21,847	
		基金合計						
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林所有者の探索							○年度交付金
								○年度基金
		交付金合計						
	基金合計							
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林経営計画作成・森林境界の明確化に向けた 条件整備	福井市	福井森林組合ほか	10.00ha	400	200	令和6年度交付金	
		大野市	九頭竜森林組合	76.00ha	3,040	1,520	令和6年度交付金	
勝山市		九頭竜森林組合	30.00ha	1,200	600	令和6年度交付金		
池田町		越前福井森林組合	40.00ha	1,600	800	令和6年度交付金		
交付金合計			156.00ha	6,240	3,120			
基金合計								
(森林整備地域活動支援対策のうち) 都道府県推進事務		福井県			47	23	令和6年度交付金	
	交付金合計				47	23		
	基金合計							
(森林整備地域活動支援対策のうち) 市町村推進事務		大野市			100	50	令和6年度交付金	
	交付金合計				100	50		
	基金合計							
交付金総計				56,922	28,460			
基金総計								
再造林の 低コスト化 の促進	低コスト 再造林対策	低コスト造林の支援			420	420		
		うち一貫作業システム					円/ha 植栽樹種： 植栽本数：本/ha	
		うち低コスト造林	あわら市 坂井市	坂井森林組合	0.45ha	329	329	528,000円/ha 具体的な施業：低密度植栽 植栽樹種：コウヨクザン 植栽本数：2,000本/ha
		うち下刈り			0.21ha	91	91	313,000円/ha 具体的な施業：低密度植栽 植栽樹種：センダン 植栽本数：500本/ha
		機械器具の整備					円/ha 下刈り回数：回/目	
		関連条件整備活動					資機材の種類：	
		うち森林作業道の整備			0.66ha	580	580	鳥獣害防止施設等の整備
		合計				1,000	1,000	
		附帯事務費						
		総計				1,000	1,000	

(注)

- 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の事業実施主体については、林野庁長官が別に定める考え方に則して都道府県知事が選定した林業経営体、本事業の対象となる事業実施主体を記載すること。
  - 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の各欄については、林野庁長官が別に定めるところにより都道府県知事が選定した生産基盤強化区域内又は市町村森林整備計画に定める特に効率的な施業が可能な森林の区域内において実施する事業について記載すること。
  - 「実施市町村」は、事業実施主体が事業を予定している市町村名を記載すること。
  - 「事業費」、「事業費」及び「国費」については、事業種目ごとに合計を記載し、間伐材生産、路網整備・機能強化については、2事業の総計を「総計」欄に記載すること。
  - 「間伐材生産」は、定額の単価と間伐材生産量を備考欄に記載すること。
  - 「路網整備・機能強化」の「林業専用道(規格相当)」については、設計・技術審査会の設置状況を備考欄に記載すること。
  - 「森林整備地域活動支援対策」については、「交付金」「基金」別に記載することとし、備考欄に事業実施年度も記載すること。
  - 「低コスト再造林対策」は、定額の単価及び具体的な施業、植栽樹種、植栽本数、下刈り回数、資機材の種類を事業種目に応じて備考欄に記載すること。
- \* 行については、適宜加除のこと。

1 個別事業計画一覧表(2)

<合計>

目標	メニュー	実施内容	事業実施主体	事業費 (千円)	国費 (千円)	地域 提案	備考
山地防災情報の周知				1,000	500		
森林資源の保護				2,347	1,173		
林業の多様な担い手の育成				409	204		
林業経営体の育成							

<個別事業計画>

山地防災情報の周知	山地防災情報伝達の総合的な推進	インターネットによる山地防災情報の整備	福井県	1000	500		委託費：1,000千円
森林資源の保護	森林資源保護の推進	抵抗性マツの植栽	坂井市	1000	500		委託費：1,000千円
森林資源の保護	森林環境保全の推進	森林被害の実態把握調査	福井県	1347	673		森林保全巡視員報酬 1,347千円
林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着	森林施業プランナーを対象とした研修会や勉強会を実施	福井県	189	94		委託費：189千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	安全巡視指導の実施	林業・木材製造業労働災害防止協会福井県支部	220	110		報償費：134千円 旅費：40千円 需用費：28千円 役務費：11千円 使用料：7千円

(注)

- 1 メニューについては、別表4に定める事項を記載すること。
- 2 実施内容については、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等交付等要綱(平成30年3月30日付け29林政第893号農林水産事務次官依命通知)別表2のIの2のメニュー欄に掲げる内容を踏まえ、わかりやすく簡潔に記載すること。
- 3 目標ごとに事業費及び国費の合計を記載すること。
- 4 地域提案事業は、個別事業計画ごとに地域提案の欄に「○」を記載すること。
- 5 実施地域及び項目ごとの積算基礎(実施数量、事業費の内訳)を備考欄に記載すること。
- 6 「林業経営体の育成」の実施内容、事業実施主体、事業費、国費及び備考欄については、林業機械リース支援を活用する事業実施主体ごとに記載することとし、実施内容欄については導入予定機械名及び台数を記載すること。また、機械の再貸付けを行うものについては、備考欄に「再貸付」と記入すること。

\* 行については、適宜加除のこと。

2 計画主体ごとに定める指標（全体指標）

目標	事業種目 (メニュー)	全体指標	指標設定の考え方 (目標との関連性)	現状値			目標値			備考
				数値	単位	年度 (西暦)	数値	単位	年度 (西暦)	
林業・木材産業の生産基盤強化						R6 (2024)			R11 (2029)	
山地防災情報の周知	山地防災情報伝達の総合的な推進	住民への周知率	治山施設と山地災害危険地区に関する情報を地域住民へ情報周知するため、情報を最新のものに整備し(県HP等)、山地防災情報の推進を図る。	5	市町	R6 (2024)	5	市町	R7 (2025)	山地災害危険地区を新規追加指定する市町数を想定
森林資源の保護	森林資源保護の推進	活動地域数	抵抗性マツの植栽や松くい虫被害木除去等に要する経費の支援を通じ、松林健全化に取り組む地域の育成と被害防止を図る。	19	地域	R6 (2023)	19	地域	R7 (2024)	
	森林環境保全の推進	森林被害の実態把握調査にかかる活動日数	県内各地域の森林面積に応じてパトロール日数を設定し、着実に実施することで、森林被害の実態把握、林野火災や不法投棄などの違法行為等による森林被害の未然防止を図る。	198	日	R6 (2024)	198	日	R7 (2025)	
林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着	素材生産量	森林施業プランナーの技術の向上により集約化を促進することで施業地を安定的に確保し素材生産量の増加につなげる。	246,000	m <sup>3</sup>	R6 (2024)	250,000	m <sup>3</sup>	R7 (2025)	
		森林施業プランナー研修開催	森林施業プランナー向けの研修会を開催し、集約化に係る技術の向上及び情報交換を図る。	1	回	R6 (2024)	1	回	R7 (2025)	
	労働安全の確保	素材生産量	巡回指導を行い、林業労働災害発生日数の減少に努めることで、労働環境改善を図り、林業従事者を確保し素材生産量の増加につなげる。	246,000	m <sup>3</sup>	R6 (2024)	250,000	m <sup>3</sup>	R7 (2025)	
		労働災害発生日数	巡回指導を行い、林業労働災害発生日数の減少を図る。	18	件	R6 (2024)	18	件	R7 (2025)	
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)									
再造林の低コスト化の促進	コンテナ苗生産基盤施設等整備									

(注)

- 1 目標単位での事業計画がある場合は、該当する全体指標について記載すること。
- 2 メニュー及び全体指標については、別表4に定める事項を記載すること。ただし、目標「林業の多様な担い手の育成」における全体指標の一部及び「森林資源の保護」における全体指標については、別表4を踏まえ、地域の実情に応じたものを設定すること。また、全体指標ごとに定める( )書き内の増加量、増加率等については備考欄に記載のこと。

\* 行については、適宜加除のこと。

様式5

事前点検シート

計画主体名	福井県		
実施年度	令和 6 年度	総事業費	61,489 千円
		(うち交付金)	31,338 千円)

1 計画全体について

	項 目	チェック欄	備考欄
(1)	森林・林業基本計画、全国森林計画、地域森林計画、林業労働力の確保の促進に関する基本計画、木材安定供給確保事業に関する計画等をはじめ、その他各種関連制度・施策との連携、配慮、調和等が図られているか。	○	
(2)	事業実施関係者のみならず、関連部局、地域住民等との合意形成・連携・調整が図られているか。	○	
(3)	計画主体、事業実施主体及び関係者で協議会を設置するなど、事業の推進体制は確立されているか。	○	
(4)	事業計画を公表することとしているか。	○	
(5)	事後の評価結果について公表することとしているか。	○	
(6)	目標値については、都道府県における各種計画の目標数値との整合が図られており、かつ、情勢の変化や前年度の施策の効果の評価を踏まえて算定し、関係者の合意が得られたものであるか。(※1)	○	ふくいの森林・林業のあり方検討会や県民の意見を反映し策定したふくいの森林・林業基本計画の目標値のもとに、情勢の変化等を踏まえて算定。
(7)	前年度までの計画と同一の目標値を掲げている場合、本計画の目標値は、前年度までの計画の目標値を上回っているか。(上回っていない場合、その理由が整理されているか。)(※2)	○	
(8)	事前点検シートに掲げる項目について、判断根拠となる書類を保存しているか。	○	
(9)	他省補助金との重複はないか。	○	

(注)

1 チェック欄には、該当する項目を満たしていることを確認し「○」を、該当ナシの場合は「-」を記入すること。  
(必要に応じて名称等を記入)

2 (※1) : どのような手段により、どのような者と合意形成を図ったか備考欄に記載のこと。(別様可)

3 (※2) : 都道府県が作成する計画等の目標数値を適用しない場合、現状値及び目標値設定の根拠(理由)を備考欄に記載すること。(別様可)

様式6  
 交付金チェックリスト  
 (森林整備・林業等振興推進交付金)

<共通>

評価内容		評価
1	経営管理実施権の設定等	
	経営管理実施権の設定等をしているか。	
	① 経営管理実施権を設定している。	
	② 経営管理権を設定している。	○
	③ 意向調査を実施している。	
	④ 上記のいずれもしていない。	
2	効率性の向上	
	(1) 合意形成・協議・手続の改善	
	関係部局とも調整し、協議・手続の迅速化・簡素化を図っているか。	
	① 関係部局等との調整が既に終了している。	○
	② 現在、関係部局等と調整している、又は調整が必要な事案はない。	
	③ 関係部局等と調整していない。	
	<具体的な取組内容> ・主な調整内容 事業執行のための予算に係る調整  ・関係部局 県財政課 ・調整終了時期(②の場合は見込み時期) R5.10月～R5.12月	
	(2) 事業の重点化・集中化	
	ア 事業実施主体の事業について評価を実施しているか。	
	① チェックリスト等を用いて既に評価を実施している。	○
	② 今年度(事業実施年度)から評価を実施する。	
	③ 実施していない。	
	<具体的な取組内容> ・主な評価内容、手法 チェックリストの項目について評価を実施  ・今年度(事業実施年度)実施時期 R6.2月	
	イ 事業の進捗状況について、時間管理を実施しているか。	
	① 定期的に事業実施主体から進捗状況等が報告される仕組みとなっている。	○
	② 報告時期は設定していないが、事業実施主体から報告される仕組みとなっている。	
	③ 実施していない。	
	<具体的な取組内容> ・主な仕組み 毎月、事業実施主体の進捗状況を把握し、その結果をとりまとめている。  ・定期報告時期(①を選択した場合のみ) 毎月報告	

3	透明性の向上	
	事業計画、達成状況報告、評価結果及び改善措置を講じた場合の内容及びその進捗状況をどのような方法で公表しているか。	
	① 関連資料について、ウェブサイト等で公開するとともに、情報公開窓口で閲覧を実施している。	○
	② 情報公開窓口において閲覧のみ実施している。	
	③ 特に公開していない。	
	<具体的な取組内容> ・公開対象資料 事業構想、事業計画および達成状況報告書  ・公開時期 随時公開 ・ウェブサイト等のURL（①を選択した場合のみ）・公開時期 随時公開 <a href="https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kensanzai/seichousangyouka.html">https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kensanzai/seichousangyouka.html</a>	

(注)

- 1 各評価項目について、①から④までのうち該当する内容のいずれか一つに○印を付すること。
- 2 ①又は②に○印を付した場合は、具体的な取組内容の欄を記入すること。
- 3 本表への記載事項については、必要に応じて調査を行うことがある。

<山地防災情報の周知>

評価内容		評価
1	効率性の向上	
	(1) 合意形成・協議・手続の改善	
	事業計画について、住民等との合意形成が図られているか。	
	① 広報誌等に加え、意見聴取の仕組みを設けて合意形成を図っている。	
	② 広報誌等により周知を図っている。	○
	③ 合意形成を図っていない。	
	<具体的な取組内容> ・主な内容 山林保全監視モニター研修会にて、ウェブサイトのURLを周知 ・意見聴取の仕組み（①を選択した場合のみ）  ・広報誌名、ウェブサイトのURL <a href="http://sabogis.pref.fukui.jp/MRFukuiS_I/login.asp">http://sabogis.pref.fukui.jp/MRFukuiS_I/login.asp</a> ・掲載時期	
	(2) 事業の重点化・集中化	
	事業の重点化を図っているか。	
	① 例年よりも実施地区数（箇所数・事業実施主体数）の絞り込みを行っている、又は毎年重点的に取り組む事項を明らかにするなど既に事業の重点化に取り組んでいる。	
	② 今年度（事業実施年度）から事業の重点化に取り組む。	
	③ 例年よりも実施数が拡大している、又は事業の重点化は図っていない。	○
	<具体的な取組内容> ・主な絞り込み手法、観点（①を選択した場合のみ）、又は主な内容 ・国土強靱化地域計画に位置づけられている取組であるか  ・実施地区数（箇所数・事業実施主体数）の変化 事業実施前年度：                    地区（箇所・事業実施主体） 事業実施年度：                    地区（箇所・事業実施主体）	
2	地域特性の重視	
	事業計画について、住民や民間事業者等の発想を取り入れて計画を作成しているか。	
	① 公聴会の開催、公募等により広く住民等の意見を吸い上げている。	
	② 一部の住民や民間事業者等に限り意見を吸い上げている	
	③ 対応していない。	○
	<具体的な取組内容> ・主な手法  ・公聴会実施時期（①を選択した場合のみ） ・公聴会開催場所（　  〃　  ） ・公募内容（　  〃　  ） ・公募時期（　  〃　  ） ・対象者（②を選択した場合のみ）	

(注)

- 各評価項目について、①から③までのうち該当する内容のいずれか一つに○印を付すること。
- ①又は②に○印を付した場合は、具体的な取組内容の欄を記入すること。
- 本表への記載事項については、必要に応じて調査を行うことがある。

<森林資源の保護>

評価内容		評価
1	効率性の向上	
	(1) 合意形成・協議・手続の改善	
	事業計画について、住民等との合意形成が図られているか。	
	① 広報誌等に加え、意見聴取の仕組みを設けて合意形成を図っている。	
	② 広報誌等により周知を図っている。	
	③ 合意形成を図っていない。	○
	<具体的な取組内容>	
	・主な内容	
	・意見聴取の仕組み（①を選択した場合のみ）	
	・広報誌名、ウェブサイトのURL	
	・掲載時期	
	(2) 事業の重点化・集中化	
	事業の重点化を図っているか。	
	① 例年よりも実施地区数（箇所数・事業実施主体数）の絞り込みを行っている、又は毎年重点的に取り組む事項を明らかにするなど既に事業の重点化に取り組んでいる。	○
	② 今年度（事業実施年度）から事業の重点化に取り組む。	
	③ 例年よりも実施数が拡大している、又は事業の重点化は図っていない。	
	<具体的な取組内容>	
	・主な絞り込み手法、観点（①を選択した場合のみ）、又は主な内容 森林被害の実態把握調査について、保安林等の重要箇所や不法投棄の懸念箇所および山火事 多発時期には、入込の多い地域などを重点的に実施 （森林被害の実態把握調査）	
	・国土強靱化地域計画に位置づけられている取組であるか	
	・実施地区数（箇所数・事業実施主体数）の変化 事業実施前年度：6地区（箇所・事業実施主体）（抵抗性マツ植栽1地区、森林被害の実態把握調査5地区） 事業実施年度：6地区（箇所・事業実施主体）（抵抗性マツ植栽1地区、森林被害の実態把握調査5地区）	
2	地域特性の重視	
	事業計画について、住民や民間事業者等の発想を取り入れて計画を作成しているか。	
	① 公聴会の開催、公募等により広く住民等の意見を吸い上げている。	
	② 一部の住民や民間事業者等に限り意見を吸い上げている	
	③ 対応していない。	○
	<具体的な取組内容>	
	・主な手法	
	・公聴会実施時期（①を選択した場合のみ）	
	・公聴会開催場所（ // ）	
	・公募内容（ // ）	
	・公募時期（ // ）	
	・対象者（②を選択した場合のみ）	

(注)

- 1 各評価項目について、①から③までのうち該当する内容のいずれか一つに○印を付すること。
- 2 ①又は②に○印を付した場合は、具体的な取組内容の欄を記入すること。
- 3 本表への記載事項については、必要に応じて調査を行うことがある。



<林業の多様な担い手の育成>

評価内容		評価
1	「緑の雇用」事業の定着率	
	「緑の雇用」事業による就業者は定着しているか。	
	① 都道府県における過去5年間の林業作業士研修（1年目）の研修生の定着率が70%以上である。	○
	② 都道府県における過去5年間の林業作業士研修（1年目）の研修生の定着率が70%未満である。	
2	月給制の導入	
	現場作業に従事する従業員に月給制を導入しているか。	
	① 都道府県の森林組合のうち現場作業に従事する従業員に月給制を導入している割合が30%以上である。	○
	② 都道府県の森林組合のうち現場作業に従事する従業員に月給制を導入している割合が30%未満である。	
3	労働安全の取組	
	安全診断を受けて安全活動に取り組んでいるか。	
	① 都道府県の認定事業主（※）のうち、前年度までに労働安全コンサルタントによる安全診断を受けた割合が50%以上である。	
	② 都道府県の認定事業主（※）のうち、前年度までに労働安全コンサルタントによる安全診断を受けた割合が50%未満である。	○
4	労働災害発生状況	
	労働災害が発生していないか。	
	① 都道府県の直近年の死亡災害数が「0」であり、かつ直近年の休業4日以上死傷災害数が過去3カ年の平均未満である。	○
	② 都道府県の直近年の死亡災害数が1件以上発生している、又は直近年の休業4日以上死傷災害数が過去3カ年の平均以上である。	
5	労働災害削減に関する計画	
	労働災害削減に関する計画があるかどうか。	
	① 削減に関する数値目標と具体的な取組を記載した計画がある。	
	② 具体的な取組を記載した計画がある。	○
	③ 計画がない。	
6	「出荷ロットの大規模化等」、「人材の確保・育成・定着（うち森林施業プランナー育成対策）」、「新たに造林事業を開始する者等の育成」及び「特用林産物の担い手の育成」への取組	
	「出荷ロットの大規模化等」、「人材の確保・育成・定着（うち森林施業プランナー育成対策）」、「新たに造林事業を開始する者等の育成」又は「特用林産物の担い手の育成」へ取り組むか。	
	① 「出荷ロットの大規模化等」、「人材の確保・育成・定着（うち森林施業プランナー育成対策）」、「新たに造林事業を開始する者等の育成」又は「特用林産物の担い手の育成」のメニューを要望している。	○
	② 「出荷ロットの大規模化等」、「人材の確保・育成・定着（うち森林施業プランナー育成対策）」、「新たに造林事業を開始する者等の育成」及び「特用林産物の担い手の育成」のメニューを要望していない。	

(注)

1 各評価項目について、①から③までのうち該当する内容のいずれか一つに○印を付すること。

2 本表への記載事項については、必要に応じて調査を行うことがある。

※ 「認定事業主」とは、林業労働力の確保の促進に関する法律（平成8年法律第45号）第5条第1項に基づき認定を受けた同法第2条第2項に規定する事業主をいう。

達成状況評価シート  
(事業構想「目標を定量化する指標」)

1 事業構想評価表

目標	メニュー	指標														備考			
			開始年度	目標年度	1年目 (開始年度) 目標値	2年目 目標値	3年目 目標値	4年目 目標値	5年目 目標値	1年目 (開始年度) 実績値	2年目 実績値	3年目 実績値	4年目 実績値	5年目 実績値	直近年の達成率 (%) (実績値/目標値)		達成状況 評価結果		
安定供給体制の整備推進	間伐材生産	間伐材生産経費(円/㎡)の減少率	H30	R4	-	1%	3%	4%	-	-	35%	7%	9%	-	225%	A			
	高性能林業機械等の整備	労働生産性(㎡/人・日)の増加率	R2		11%	12%	13%	-	-	405%	425%		-	-	3542%	A			
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備		地域材利用量(㎡)の増加率																
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用量(㎡/百万円)																
		木造化(補助率15%以内)																	
		木質化																	
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備	事業費当たりの木質バイオマス利用量(㎡/百万円)																
		木質バイオマス供給施設整備			R1	20	20	20	20	-	97	158	124		-	621%	A		
木質バイオマスエネルギー利用施設整備		R3			2	2	-	-	-	18		-	-	-	888%	A			

(注)

- 1 達成率については、小数点以下を切捨てとする。
- 2 達成状況評価結果については、下表の達成状況評価値に応じ、A、B又はCを記載すること。

達成状況評価値	達成状況評価結果
80%以上	A
50%以上80%未満	B
50%未満	C

- 3 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本シートにおける評価対象外とする。なお、該当するメニューについては、本様式に準じ別途事業構想評価表を作成することとし、その理由を記載すること。
- 4 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 5 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。

様式7の4

達成状況評価シート  
(森林整備・林業等振興整備交付金)

1 個別事業評価表

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標	目標年度 ( 令和4年度)			備 考
							目標値	実績値	達成率 (%) (実績値/目標値)	
木材利用 及び木材 産業体制 の整備推 進	木材加工 流通施設 等の整備	木材加工 流通施設 整備	ふくい県産材 協同組合	木材乾燥機	平成29年度	地域材利用(加 工)量(m3)	5,400	5,456	101	
						施設の効率性 (m3/千円)	0.180	0.075	42	
森林整備 の推進	高性能林 業機械等 の整備	林業機械 作業シス テム整備	九頭竜森林組 合	バックホウ2台	平成29年度	間伐材利用量(m <sup>3</sup> )	37,500	34,091	91	
						間伐材の生産性 (m <sup>3</sup> /人/日)	8	9	111	
木材利用 及び木材 産業体制 の整備推 進	木造公共 施設等の 整備	木造公共 施設整備	福井県 (医薬食品衛 生課)	木造公共施設 (動物愛護センター)	平成29年度	施設利用者数	4,000	2,972	74	
						地域材利用量 (m3/m2)	0.28	0.28	100	
						施設整備単価 (円/m2)	299,000	273,000	110	
						C L T利用量 (m3)	0	0	-	

## 2 改善措置実施事業表

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標	改善措置内容			備 考
							改善措置 実施時期	改善措置 後の目標 年度	改善措置の内容 (別様可)	

## 3 達成状況評価表

「1 個別事業評価表」における全施設数 (a)	3
「2 改善措置実施事業」における全施設数 (b)	0
(a) のうち達成率が70%以上の施設数 (c)	3
達成状況評価値 ( (c) / ( (a) + (b) ) ) (%)	100
達成状況評価結果	A

(注)

- 1 「1 個別事業評価表」には、要領第2の6による事業計画申請年度の前年度に報告された達成状況報告のうち目標年度に係る事業を記載すること。ただし、目標年度及び目標年度までの期間に要領第8による改善措置を実施したとして報告された事業については、「2 改善措置実施事業表」に記載することとする。
- 2 林業・木材産業循環成長対策交付金創設以前の事業で、要領第14経過措置の「なお従前の例による」こととして報告された達成状況報告のうち目標年度に係る事業についても、「1 個別事業評価表」に記載すること。ただし、目標年度及び目標年度までの期間に改善措置を実施したとして報告された事業については、「2 改善措置実施事業表」に記載することとする。
- 3 「1 個別事業評価表」の「達成率」及び「3 達成状況評価表」の「達成状況評価値」については、小数点以下を切捨てとする。
- 4 「3 達成状況評価表」の達成状況評価結果については、達成状況評価値に応じA、B又はCを記載すること。

達成状況評価値 (c) / ((a) + (b))	達成状況評価結果
80%以上	A
50%以上80%未満	B
50%未満	C

- 5 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断される事業については、本シートにおける評価対象外とする。なお、該当する事業については、本様式に準じ別途個別事業評価表を作成することとし、その理由を記載すること。